

第37期第1回常任理事会議事録

日 時：2012年7月27日（金）14時55分～17時05分

会 場：気象庁3号庁舎3023会議室（2階）

出席者：新野，藤谷，経田，近藤，田中，徳廣，
藤部，三上，余田，以上9名（常任理事現在
数13名）

欠席者：岩崎，佐藤，中島，中村，以上4名

その他の出席者：田沢，萩原，渡辺（事務局）

議 事

1. 第36期第22回常任理事会議事録の確認
2. 会員の新規加入等について
新入会員13，退会19を全会一致で承認。2012年7
月26日現在，会員数3,797名で通常会員は1,072名。
3. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

①申請者：いであ株式会社

転載元：Fig. 4, Akihiro Hashimoto, Toshiki
Shimbori, and Keiichi Fukui, Tephra Fall
Simulation for the Eruptions at Mt. Shinmoe-
dake during 26-27 January 2011 with JMA-
NHM, SOLA, Vol. 8(2012), 37-40.

転載先：いであ株式会社の技術紹介パンフレット
(2P 100部)及び技術情報としてHPへ掲載。

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第38回リモートセンシングシンポジウム

主催：公益社団法人計測自動制御学会

期日：2012年11月2日

場所：リモート・センシング技術センター

名義：協賛

②名称：中部ライフガード TEC2013～防災・減
災・危機管理展～

主催：名古屋市国際見本市

期日：2013年5月24日～25日

場所：ポートメッセなごや（名古屋市国際展示
場）

名義：協賛

③名称：第26回数値流体力学シンポジウム

主催：日本流体力学会

期日：2012年12月18日～20日

場所：国立オリンピック記念青少年総合セン
ター

名義：協賛

④名称：第6回霧，霧採取および露に関する国際
会議

主催：第6回霧，霧採取および露に関する国際
会議組織委員会

期日：2013年5月19日～24日

場所：神奈川県（横浜赤レンガ倉庫1号館）

名義：後援

3) その他

- 6月29日：文部科学省実地検査（事務局）。
- 7月13日：長谷川事務所へ申請書と国際学術交
流見直しで相談（藤谷理事，事務局）。
- 7月25日：文部科学省実地検査結果についての
通知。
- 地学オリンピック協賛団体への協賛金の支出に
ついて。

会計…2012年6月分の収支及び現預金検査報告

- 賛助会員会費の推移として，この2年間で電力
会社の会費を中心に減っていることが報告され
た。

天気…Vol.59 No.7（2012年7月号）の掲載記事
と，Vol.59 No.8-10（2012年8-10月号）の
予定記事の報告。

気象集誌…Vol.90 No.4の掲載予定記事の報告。

SOLA…現在処理中の論文の中に，投稿から採択ま
で2か月を超えているものがいくつかあること
の報告。

- 2011年のインパクトファクターが1.29（2009年
と2010年はそれぞれ0.761，0.964）と1を超える
など評価が順調に高まっており，海外からの
投稿がさらに増えることが期待されるとの報告
があった。

- 新編集補助者の決定と勤務形態についての報
告。8月1日から在宅で勤務とする予定。

講演企画…2012年度秋季大会の準備状況が報告され
た。発表申込数は過去最多規模。予稿集の電子
化試行では意見聴取も行い要望をまとめる予
定。

- 電子版予稿集の本格導入には冊子版との共存や
費用のあり方も課題であることを確認し，会員
からの意見も踏まえて検討することとした。

- 日本地球惑星科学連合大会における気象学会主催セッションの提案募集実施の報告.
- 学術…日本学術会議にて、大型研究計画のマスタープランの大幅改訂のまとめが今年度中にある見込みとの報告. 学会としての提案を急ぎまとめる必要がある.
- 教育と普及…夏季大学が来週開催されることの報告. 申込者は募集した70名分集まった.
- 気象予報士 CPD（継続的な能力開発）制度について、予報士会が来年度から事業開始することの報告. 本制度におけるポイント設定で協力していく予定.
- 各賞…学会賞候補者推薦委員会、山本・正野論文賞候補者推薦委員会の新体制についての報告.
- 国際学術交流…第37期体制への引き継ぎを行ったことが報告された.
- 電子情報…新体制についての報告.
- 気象研究コンソーシアム…新体制づくりを進めていることが報告された.

気象災害…「平成24年7月九州北部豪雨」に関する研究報告会を秋季大会期間中に開催を計画していることの報告.

4. 風工学シンポジウムの運営要領と覚書について
表記について、気象学会など共催学協会による署名が行われることが報告された. また、日本風工学会から個別の連携も求められていることが報告された.
5. 文部科学省の出版助成について
日本地球惑星科学連合の電子ジャーナル創設の最新の動きについて報告があり、出版助成応募である科学研究費補助金の今後の申請に影響があることを確認した.

平成24年9月14日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 経田 正幸